



2021年5月10日

各 位

会 社 名 トランスコスモス株式会社  
(登記社名：トランス・コスモス株式会社)  
代表者名 代表取締役社長兼COO 奥田 昌孝  
(コード番号 9715 東証第一部)  
問合せ先 執行役員 本社管理総括 経理財務本部長 野口 誠  
TEL 050-1748-0265

(訂正)「(開示事項の変更) 税金費用の計上および  
2021年3月期連結業績と前期実績との差異に関するお知らせ」の一部訂正について

2021年4月30日に発表いたしました「(開示事項の変更) 税金費用の計上および2021年3月期連結業績と前期実績との差異に関するお知らせ」の一部に訂正すべき事項が判明いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

また、本日付で「(訂正・数値データ訂正)「2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について」を公表しておりますので、あわせてご確認ください。

なお、訂正した箇所に\_\_を付して表示しております。

記

【訂正前】

1. 税金費用の修正理由

2021年4月21日付の「(開示事項の変更) 投資先外国会社の組織再編に伴う税金費用の変更に関するお知らせ」にて、税金費用として28億円から37億円計上する見込みとしておりましたが、2021年3月期連結業績および個別業績において、税金費用計上額が32億円となりました。

なお、当該税金費用は、当社の投資先外国会社の企業価値評価が向上し、同社の戦略的組織再編に伴い発生するものであります。

2. 2021年3月期連結業績と前期実績との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期実績 (A) 2020年3月期	311,871	10,689	8,954	6,279	151.40
当期実績 (B) 2021年3月期	336,405	17,752	18,012	8,744	210.85
増減額 (B - A)	24,534	7,062	9,058	2,465	
増減率 (%)	7.9	66.1	101.2	39.3	

(差異が生じた理由)

2021年3月期の連結業績は、単体サービスおよび国内、海外関係会社の全セグメントにおいて、受注が増加したことにより、売上高 336,405 百万円となり前期比 7.9%の増収となりました。利益については、単体サービスセグメントにおいて、既存の大型業務の採算性改善や大型公共案件の獲得など、国内関係会社セグメントにおいては、一部上場子会社の収益性改善など、また海外関係会社セグメントにおいては、中国、韓国子会社を中心に収益性が改善したことなど、全セグメントで収益性が改善しました。結果、営業利益は 17,752 百万円となり前期比 66.1%の増益、経常利益は、18,012 百万円となり前期比 101.2%の増益、親会社株主に帰属する当期純利益は 8,744 百万円となり前期比 39.3%の増益となりました。

【訂正後】

1. 税金費用の修正理由

2021年4月21日付の「(開示事項の変更) 投資先外国会社の組織再編に伴う税金費用の変更に關するお知らせ」にて、税金費用として 28 億円から 37 億円計上する見込みとしておりましたが、2021年3月期連結業績および個別業績において、税金費用計上額が 19 億円となりました。

なお、当該税金費用は、当社の投資先外国会社の企業価値評価が向上し、同社の戦略的組織再編に伴い発生するものであります。

2. 2021年3月期連結業績と前期実績との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期実績 (A) 2020年3月期	311,871	10,689	8,954	6,279	151.40
当期実績 (B) 2021年3月期	336,405	17,752	18,012	<u>10,022</u>	<u>241.65</u>
増減額 (B - A)	24,534	7,062	9,058	<u>3,743</u>	
増減率 (%)	7.9	66.1	101.2	<u>59.6</u>	

(差異が生じた理由)

2021年3月期の連結業績は、単体サービスおよび国内、海外関係会社の全セグメントにおいて、受注が増加したことにより、売上高 336,405 百万円となり前期比 7.9%の増収となりました。利益については、単体サービスセグメントにおいて、既存の大型業務の採算性改善や大型公共案件の獲得など、国内関係会社セグメントにおいては、一部上場子会社の収益性改善など、また海外関係会社セグメントにおいては、中国、韓国子会社を中心に収益性が改善したことなど、全セグメントで収益性が改善しました。結果、営業利益は 17,752 百万円となり前期比 66.1%の増益、経常利益は、18,012 百万円となり前期比 101.2%の増益、親会社株主に帰属する当期純利益は 10,022 百万円となり前期比 59.6%の増益となりました。